

地域におけるリハ専門職の在り方と その活用について考える

～ 地域包括ケアシステムにおける多職種連携の再考と深化 ～

開催趣旨

2026年（令和8年）4月の診療報酬改定では、リハビリテーション分野では業務効率化、質の向上、地域連携の円滑化を目的とした医療DX（デジタルトランスフォーメーション）・ICT連携の活用が基本的な方向性として示されています。

在宅においてもリハビリテーションのみならず、多職種連携はじめ様々な場面で活用されています。

今回はこれらを活用した連携の実際と参加者間で実際に取り組む活用方法をグループワーク等で共有したいと考えています。

日時 2026年1月31日（土）13：30～17：40（入室13：00～）

会場 桜井市まほろばセンター 2階 交流室1・2（奈良県桜井市桜井1259 エルト桜井）

参加費 奈良県理学療法士協会員、作業療法士会員、言語聴覚士会員：無料

第1部 13：30～15：30 講演



「これからの時代を見据えた連携における課題」

西田 宗幹 氏（公社）奈良県理学療法士協会 副会長

「宇陀地域の医療介護連携のカタチ

～ICT宇陀けあネットによる多職種連携の現状とリハ職への想い～

小寺 恵子 氏（一社）宇陀地域医療・介護連携ネットワーク運営協議会



「作業療法士におけるICT宇陀けあネットを利用した 多職種連携事例とミニグループワーク

～医師・看護師等との連携を経験して～

谷村 賢司 氏（公社）奈良県看護協会立 宇陀訪問看護ステーション

第2部 15：40～17：40 グループワーク



【グループワークファシリテーター】

- 西田 宗幹（秋津鴻池病院 理学療法士）
- 谷村 賢司（宇陀訪問看護ステーション 作業療法士）
- 日浦 知則（田北病院 言語聴覚士）
- 堀田 修秀（御所訪問看護ステーション 理学療法士）
- 中田 慎吾（ユーティ訪問看護ステーション 作業療法士）
- 山口 史哲（當麻病院 作業療法士）
- 堀 義範（訪問看護ステーションかしの木 理学療法士）

申込み 以下のフォームまたはQRコードよりお申込み下さい【締切：1/25(月)】

<https://ourl.jp/Op860>



※ (公社)奈良県理学療法士協会のホームページからもお申込みは可能です。

連絡事項

- 研修修了者には、全国訪問リハビリテーション振興委員会による受講証明書を発行致します。この証明書は 訪問リハビリテーション管理者養成研修会（step1）受講の必須要項となっています。
- 申込時のメールアドレスは、事業所単位ではなく、個人のメールアドレスをお願いします。申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが異なっている可能性がありますので、お手数をかけますが再度の入力送信をお願いします。『@ybb.ne.jp』『@google.com』からのメールがブロックされないよう設定をお願いします。何度入力しても確認メールが届かない場合、恐れ入りますが担当者へお問い合わせ下さい。
- 本研修会は「令和7年度奈良県介護人材確保対策総合支援補助金事業」の対象となっており、事業報告の為、研修会の様子を写真撮影をさせて頂く場合がございます。予めご了承下さい。個人情報の保護につきましては、会の方針に則り適切に運用させていただきます。

会場案内



桜井市まほろばセンター 2階 交流室1・2 (奈良県桜井市桜井1259 エルト桜井)

【公共交通機関でお越しの方】

JR桜井線・近鉄大阪線(桜井駅南口)徒歩すぐ

【自家用車でお越しの方】

エルト桜井駐車場(有料)ほか、市営駐車場(桜井駅南・北口:有料)をご利用下さい。

お問い合わせ

nara.houreha.jitsumu@gmail.com (奈良県訪問リハ実務者研修委員会)

本研修会は「令和7年度奈良県介護人材確保対策総合支援補助金事業」の支援を受けて運営しています。